

## サーチライト With Pastor Jon 黙示録 第9章 パート3

このメッセージはアップルゲート クリスマン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスマン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスマン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rin

ここの描写はヨハネが幻で見たもので、銃や戦車、武装軍隊、軍用車、ミサイル発射台などでしょう。よく読んで下さい。そうすればわかってくるはずです。宿題ですよ。

これは今日の最新兵器の描写だと思います。

「てっきり 15 節に書いてある墮天使のことかと思ったよ。」

それこそが注目すべき点です。

国々は直接的に激しく悪霊の影響を受けています。

ダニエル書 (10:13) では、ペルシャ (今のイラン) の国の君と書かれています、イランを占領していた闇の悪霊が、ダニエルにメッセージを伝えるために来ようとしていた御使いに立ち向かいました。

戦いは続きましたが、御使いは遂にそこから放たれ、ダニエルの所に来て言いました。

「遅れてすまなかった。」

何らかの勢力が働いているのが見えてきたでしょうか。

これは単なる政治的権力や軍事力の話ではなく、神の視点から見た霊的な勢力の働きです。

勿論、悪霊の影響を受けて、確実に本物の軍隊が動くでしょう。

これに関しては 16 章で詳しくお伝えしますが、中国赤軍は間違いなく日本や他のアジア諸国と一緒に、1989年に完成したアジアハイウェイを通して攻めて来ます。

人々を殺し、国々を殺し、邪魔する者たちを大量殺戮しながら、2億の兵がハルマゲドンに向かってやって来ます。

ここで何が起きているかはとても重要な事です。

悪霊たちが底知れぬ穴から解き放たれ、人々を刺します。

この時、ヨエル書 2 章で香の祭壇の側にいる主が、祭司たちに、自分たちの働きをしなさいと命じたように、私たちの大祭司イエスが祭壇で執り成しているのです。

それは人々に対する怒りや意地悪ではなく、人々が目を覚まし気づくようにと願うから。

「おい!!! このチャンスを逃すな！ 以前キリストを受け入れなかったから、だから今、この患難のめっちゃくちゃな中にあるのだ。しかし今、わたしに立ち返るなら、いなごが食い尽くした年々をわたしが償おう。」

人々はどうしますか？

底知れぬ穴からの悪霊たちが刺し、東からは 2 億の軍隊が向かって来る。

これに対する人々の反応は、

これらの災害によって殺されずに残った人々は、その手のわざを悔い改めないで、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木で造られた、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を拝み続け、(黙示録 9:20)

これは今の私たちに当てはまりませんか？

「私たちは鉄や金、銅の偶像なんか持ってないよ。」

最近、ガレージの中を見ましたか？

「私は木の偶像なんか持ってない。」

あなたの家はどうでしょう。

彼らは金、銀、銅、石、木の偶像礼拝を悔い改めません。

それらは見ることも聞くことも歩くこともできない。それらは死んでいる。

その殺人や、魔術や、不品行や、盗みを悔い改めなかった。(黙示録 9:21)

殺人。

今 (1997 年) 世の中で起きている事、信じられますか？

見え透いた嘘、今になって公表された事、「部分中絶」

母体を出ても十分に生存可能な胎児の脳を吸い出す。

「こんなことは滅多にありません。」と私たちは聞かされます。

かたや別のところでは、議論を生みながらも何をしているかという、殺人を犯している同じ時に、羊のクローンが作られました。

「羊」というのが面白いところで、オレゴン州の日曜日のヘッドラインは、「次は猿」

皮肉だと思いませんか。

羊と猿。完璧です。

類似性を作り上げるのです。

私たちが新しい分野に送り出そうとしていることは、実におぞましく、震撼させるものです。

それはクリスチャンたちだけでなく高官たちをも震撼させ、倫理を重んじる高官たちの緊急会議が開か

れました。

議会では法案が飛び交い、クリントン大統領が資金援助反対案に署名したのは人間のクローン化。これは何を意味しているのでしょうか。

一方では人間をクローン化し、他方では人を殺し、その殺人を、魔術を、悔い改めない。

前回課題を残したままでしたが、ようやくわかってきました。

悪霊に刺され、いなごに破壊されるようなことがどうして起こったのか、なぜこうなったのか、黙示録の著者ヨハネ牧師が言おうとしていることが私には見えてきました。

人々の問題はどんどん拡大していて、封印の段階で十分悪に満ちていたのに、ラッパの裁きの時には更に悪くなり残酷さを増す。

ラッパの裁きは、はじめの4つでも十分ひどかったのに、次は災いとして下されます。

自ら地獄の裁きを招き、その後はますます増大してひどくなる。

それでも人々は悔い改めず、これからはいよいよ悪霊が個々人や人々、国家、世代へその鉤を引っかけて引きずり込んでいきます。

殺人を続けていますが悔い改めません。

薬物摂取。

皆さん、ドラッグの問題とはこうです。

ドラッグに手を出す人、度を超えて飲酒する人、それは霊的な問題であることを、誰もが理解しておくべきです。

多くの人が覚えているでしょう。私ははっきりと覚えています。

当時高校生でしたが、ヒッピーたちがバカ騒ぎしているのを見ていました。

川の中に突っ立って「俺がイエス・キリストだ!」「俺がイエスだ!」「俺が神だ! イエスだ!」と大声で叫んでいる。

それを見て、一体どうなっているんだと思いました。

スピリチュアルとは何でしょう。

ジョン・レノンやジョージ・ハリスンは、ドラッグに手を出すや否や、突然インドに行って東洋の宗教に染まっていました。

そこで私はわかってきたのです。

「なんと!! これは底知れぬ穴から出て来た悪霊に関わることで、悪霊が直接つけ狙っているのは殺人者とドラッグに手を出した人たちだ。」

なぜかという、ドラッグに手を出した途端に自分の魂を開いてしまい、その瞬間、悪霊のひと刺しに完全にやられるのです。

ドラッグは思考に影響を与えるだけでなく、勿論思考にも影響しますが、でもそれよりももっともっと深い。

世間はドラッグについて、心理的な問題とか精神的な影響と見ていますが、ドラッグに潜む問題は、セックスに潜んでいるものと同じです。

よく聞いて下さい。

世の中はセックスの問題をエイズや妊娠だと考えていて、感染予防や妊娠予防で解決できる、安全にセックスすれば大丈夫だと思っています。

世間は理解できないのです。

これは生殖でもなければ娯楽でもない。

セックスによって霊的な一体化が起こるのです。

だから聖書は、はっきりと明確に告げています。

**女と姦通する者は思慮に欠けている。これを行う者は自分自身を滅ぼす。(箴言 6:32)**

それほど深刻なことなのです。

エイズについては一言も書いてありませんが、同じように悲劇的で、それは魂の問題であり自分で自分の霊を滅ぼすのです。

婚姻においては、二人が一つとなりお互いを高め合いますが、婚姻外の関係では互いを破滅し合います。

これは霊的な問題なのです。

世は私たちが笑い、予防さえすれば大丈夫だと言います。

でも私たちは知っています。聖書にはっきり書かれているから。

ドラッグについても知っています。

これは単にお酒を飲んでも構わないとか、錠剤を飲み込んであんなことしても自制できれば…とかそういうことではありません。

自分自身を悪霊の支配に明け渡しているのです。

そしてあらゆる種類の殺人、中絶も。

魔術とはギリシャ語でファーマキア、薬のことです。

そこからファーマシー（薬局）という言葉が生まれました。

これが悪霊がもたらす災いの理由です。

それは文字通り患難時代に起こりますが、今日も起こっています。

友人や同僚の多くが、今既にそれぞれの患難の中にいるのです。

原因は殺人だったり、ドラッグだったり、姦淫、これの語源はポルニアつまりポルノ。

「誰にも迷惑をかけていない。」「一人で楽しんでいるだけだ。」

間違いです。

ポルノ、魔術（占い）、薬物摂取、殺人には悪霊の要素があり、それがあなたの魂に鉤をかけて引きずり込むのです。

だからここでヨハネ牧師が、「確かにあなた方は大変な思いをしています。だけど、このラッパの音で目を覚まして、謙遜になって最後の悔い改めをしなさい。世は整えられます。全て大丈夫です。」と言っているのです。

問題は、あなた方がこのラッパの音にどう反応するのかという事です。

ポルノ。

はっきり言うと、最近のテレビ番組の大半はポルノに属しています。

もし分野を問わずあらゆる映画を、オスカー受賞作品をよく観るなら、今悔い改めなさい。  
テレビの前に座って次々に流れる番組を軽い気持ちで見ているなら、今悔い改めなさい。  
それは、ポルノ以外の何ものでもないから。

「自分は大丈夫。」「誰にもわからない。」「誰にも迷惑かけてない。」と思っているなら、間違いです。  
この人たちの間違いはそれです。

それが入り口となって、悪霊はドラッグから、殺人から、ポルノから、盗みから入り込むのです。  
ここに出て来る最後の一つ。盗み。

税金申告の季節ですよ、皆さん。「いや～、でも、みんな…」

だから現在、多くの人たちが患難の中にいるのかもしれない。

サタンは盗人とも呼ばれます。

「いや～、だけどわかるだろう？これでいくらかお金が助かるんだ。」「だから、その…私は賢いんだ。」  
あなたは馬鹿者ですよ。私も。私たちはみんな、どうしようもない。

たとえその場をしのいで 20 ドル(2 千円)か 2 万ドル(2 百万円)を節約したとしても、自分で自分の世界に  
悪霊を呼び込み、患難をもたらしているのです。

ラップの音が聞こえても反応せず、悔い改めず、理解せず、ドラッグやポルノや盗み、殺人を犯し続ける  
人たち。

この先の章に書かれている通り、それらが彼らを更に滅びの深みへと引きずり込んでいくのです。

皆さんは勝利がどこにあるか知っていますね。

キリストに在る兄弟として皆さんに伝えます。

想像して下さい。そして今日聞いたことに耳を傾けて下さい。

悔い改めて、祭壇で「わたしは彼らが破滅させられることを望んではない。」と嘆き叫んでいる方に耳  
を傾けなさい。

「しかし必要なら、わたしは彼らが刺され、深く傷つくことも厭わない。」

「悔い改めなさい。そうすれば、わたしはいなごが食べた年々を償おう。あなたが失った年を、わたしが  
新しくしよう。あなたがわたしに立ち返り、悔い改めるなら、わたしはあなたを罪に定め続けない。」

とイエスは言っています。

ですが、人々は悔い改めません。

「ジョン、わからなくなってきた。前に悪霊はクリスチャンに憑りつくことはできないと言ったじゃな  
いか。」

その通り、できません。

悪霊がクリスチャンに憑りついた例は、聖書のどこにも出てきません。

悪霊に憑りつかれたクリスチャンなんてものは存在しません。

光か闇か、どちらかです。

あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者（サタン）よりも力があるからです。

(Iヨハネ 4:4)

「では、どうして脅すのか。」

悪霊に憑りつかれることはありません。

だけど悪霊に制圧されることはあり得ます。

あなたが悪霊に入り込む隙を与え、うろつくことを許す限り、自分や家族をいつまでも悪霊の支配下に置いておくことは可能なのです。

殺人、魔術（占い）、ドラッグ、アルコール、ポルノ、盗みによって、悪霊に入り込む隙を与えるのです。憑りつくのではありません。

あなたは主のものだから。

ネヘミヤ書のネヘミヤという名前は「慰める者」という意味です。

ネヘミヤの時代は、バビロン捕囚の期間が終わってユダヤ人が彼らの地に帰還し、エズラの下で神殿が建ち、霊的には大丈夫な状態です。

しかし！絶えず挑んでくる敵から町を守るための壁は崩されたままでした。

そんな時、イスラエルの敵たちがしつこく挑んできました。

ユダヤ人には神殿がありました。

ということは、彼らは新生していました。

神殿は霊です。

また、彼らは国、すなわち体に戻っていました。

国は体を表すので、つまり、体の中に神殿がありました。

しかし思考や魂という、決断する部分を意味する町の統治が弱いのです。

壁は崩され、門は焼き払われていて、魂は決断を下せません。

恐らく私たちクリスチャンの誰もが経験した事があるでしょう。

霊は新生して、主は私の霊の中におり、体は機能しているのに、魂が崩れ正しい判断ができない。

敵に攻撃されて盗みを正当化してしまうのです。

隙だらけになり混乱して、「魂よ、一体どうなっているんだ!？ 魂よ！」

壁が崩されたままで絶えず攻撃されている。

それは情欲かもしれないし、どっちつかずの態度かもしれません。

とにかく常に攻撃にさらされ、思考が襲撃されている。

私たちは新生しているし、天国に行くこともわかっています。

でも、この魂は、自分の人生を統括する部分は…

そこへ、ネヘミヤが来ました。

神殿はエズラによって建てられました。

しかし魂はネヘミヤ、慰める者へと持ち越されます。

彼は町に入り破滅、破壊を見ましたが、3日間、誰にも何も言いませんでした。

彼は心を痛めていました。

それは、ネヘミヤ書第1章、壁が崩され、門が焼き払われていたから。

魂、つまりエルサレムの町が荒れ果てていたからです。

この慰める者という意味のネヘミヤは、聖霊を表しています。

その後、彼が語り始めた時に人々は選択を迫られました。

崩れた状態について、ネヘミヤが語ることを聞き入れるか、もしくは「放っておいてくれ！慰める者よ！」  
と言うか。

人々は賢明にも、慰める者の嘆きに耳を傾けて働くことを選び、一生懸命に破壊された壁を建て直しました。

壁、それは魂、思考、感情、意思。

簡単ではありませんでした。

最強の部族であるユダ族が、仕事中に「厳しすぎる！」と言います。

「ちりあくたは山をなしている。」(ネヘミヤ書 4:10)

そこでネヘミヤは言いました。「諦めるな！」

そして仕事を続けるようにと励ましました。

攻撃は止まず、アモン人のトビヤやゲシエムら外野の者たちは嫌がらせをし「絶対に無理！絶対に成功しない！」

「彼らの建て直している城壁なら、一匹の狐が上っても、その石垣をくずしてしまうだろう」

(ネヘミヤ書 4:3)

しかしネヘミヤは、聖霊がいつもそうするように見本を示し働き続けました。

人々もそれに応えて、結果どうなりましたか。

話は終盤を迎えます。

壁は建て直され、門もまた取り付けられて、町に再び平安が戻りました。

今夜、恐らくネヘミヤは私に、そしてあなたに語っているでしょう。

「あなたも激しく刺されている。悔い改めなさい。そして、これから熱心に壁と門を建て直しなさい。」  
悔い改めによって壁は建て直されます。

決心によって壁は再建されます。

「もう殺人は犯さない！」「もうポルノは見ない！」「もうドラッグは止める！」「もう盗まない！」「もうしない！」

「主よ、憐れんで下さい。私は刺されました。これ以上、こんなことを続けたくありません。あなたの御前で悔い改めます。」

そうすればネヘミヤ、慰める者があなたの中で働き始め、壁を再建し始めます。

そして私たちの救い主である主は、「今夜ラッパが吹かれるのを聞く時、いなごが食べたあなたの年々をわたしが償おう。」

私の人生、あなたの人生、皆さんの人生の中で、今日の話に何か心当たりがあるなら、今が悔い改めの時です。

「なぜなら、彼らは知識を憎み、主を恐れることを選ばず、わたしの忠告を好まず、わたしの叱責を、ことごとく侮ったからである。」(箴言 1:29-30)

「しかし、わたしに聞き従う者は、安全に住まい、わざわいを恐れることもなく、安らかである。」

(箴言 1:33)